



ほけんだより 6月

令和3年6月18日(金)



みそらこども園感染症情報

5月1日～31日

RSウイルス感染症	16名
突発性発疹	2名
流行性耳下腺炎	1名



こども達は、様々な物に触れる為、爪(つめ)の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れがたまと炎症を起こし、爪の病気になってしまうので、手洗いで落とすきれいな汚れは、お風呂できれいに落としてあ



また、爪が長いとどこかにひっかけたり、お友達を傷つけることもあります。1週間に1回は爪が伸びていないか、確認をしましょう。



歯科検診の様子

6/10(木)にごとう医師による、歯科検診が行われました。園医さんが変わり、興味津々のこども達、健診が始まる前から医務室にいるごとう先生に、お話にきていました。こども達に優しく声をかけて下さったので、帰り際には、「またきてね」と見送られていました。

ごとう先生のメッセージ

今年度より、園歯科医を担当させて頂く事になった、ごとう歯科医院後藤嘉之と申します。歯科医師の立場としてお子様のサポートを行ってまいりますので、宜しくお願致します。先日、本年度の歯科診のため初めて園に伺いましたが、大きな中庭や遊具、充実した設備に驚かされました。こども達が外で体を思いっきり動かす機会がなくなった現代において、園児にはとても恵まれた環境だなと感じました。外で遊ぶ機会が減ってしまっているなど社会の環境が変化しているのと同じように、時代とともに口腔内の環境も変化しています。例えば、近年は顎が小さく歯並びが悪いのが多くなっています。柔らかい食事が増えて顎の筋肉に負担がかからないことが原因と言われます。顎が小さいと顔が小さくていいじゃないかと考える方もいるかもしれませんが

が、歯は顎の退化についていけずに置いてけぼりにされ、何とか口の中に生えようとするため歯並びの悪い口元になってしまいます。歯並びが悪いと虫歯や歯周病のリスクが高まり将来の生活に支障がでてしまいますし、不正歯列を治すには矯正が必要となり費用も高額になってしまいます。他にも口呼吸の増加による歯列不正や免疫力の低下・集中力の低下など、様々な変化と弊害が示唆されています。時代の変化がこどもの変化にいかに関わっているか簡単には予測はできません。こども達のために、大人である我々が改めて生活を見直す必要があるのかもしれない。私自身も情報を更新し、園を通じて皆様に伝えられたらと思っております今後ともどうぞよろしくお願い致します。

